

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.8

名前

得点

/10

問1 15世紀末以降、ヨーロッパ人がアメリカ大陸に到達した際、彼らが持ち込んだ病原体は、それまで免疫を持たなかった先住民の間で猛威を振るい、劇的な人口減少をもたらした。この時、先住民の社会に壊滅的な打撃を与えた代表的な感染症は何か。

(2025年 全国公立入試 類似)

1. 天然痘 2. 猩紅熱 3. 黄熱病 4. 黒死病

問2 明代末期に、政治批判の拠点となった東林書院を再興し、のちに宦官らと激しく対立することになる政治グループの指導者となった人物は誰か。

(2023年 全国公立入試 類似)

1. 黄宗羲 2. 王夫之 3. 顧炎武 4. 顧憲成

問3 ムガル帝国において、ヒन्दウー教徒などの非ムスリムに対する人頭税（ジズヤ）を廃止し、ラージプート諸王国との同盟やヒन्दウー教徒の官僚登用など、諸宗教の融和政策を推進した第3代皇帝は誰か。

(2011年 全国公立入試 類似)

1. アクバル 2. パール 3. フマユーン 4. アウラングゼーブ

問4 17世紀後半のフランスにおいて、ルイ14世が信仰の自由を認めていた王令を廃止したため、国外への亡命を余儀なくされ、その結果フランス経済に深刻な打撃を与えることとなった、カルヴァン派の信徒をフランスでは何と呼ぶか。

(2014年 全国公立入試 類似)

1. ユグノー 2. ピューリタン 3. ゴイセン 4. ジェズイット

問5 16世紀後半のフランスでは、カトリックとプロテスタントの対立から激しい内戦が勃発した。この内戦を終結させるため、新たに即位したブルボン朝の初代国王が1598年に発布し、プロテスタントに対して個人の信仰や礼拝の自由を認めた勅令は何か。

(2004年 全国公立入試 類似)

1. アウクスブルクの和議 2. ナントの勅令 3. ヴォルムス勅令 4. ミラノの勅令

問6 17世紀半ばから18世紀のロンドンなどで流行し、市民が安価な料金で入場して新聞や雑誌を読み、政治や経済、文学について議論や情報交換を行った、近代的な世論形成の場となった社交場を何というか。

(2006年 全国公立入試 類似)

1. カフェ 2. サロン 3. クラブ 4. コーヒーハウス

問7 18世紀の大西洋をまたぐ交易において、西アフリカからの奴隷貿易に深く関わり、そこから得た莫大な富を背景に、のちに近隣の綿工業都市マンチェスターの輸出入港として産業革命期に急速な発展を遂げた、イギリス西部の代表的な港町はどこか。

(2011年 全国公立入試 類似)

1. バーミンガム 2. マンチェスター 3. ブリストル 4. リヴァプール

問8 18世紀半ばにアラビア半島で興った復古主義的なイスラーム改革運動と結びつき、共同で第一次サウード王国を建国した、アラビア半島中部のディリーヤを拠点とする豪族は何か。

(2012年 全国公立入試 類似)

1. サウード家 2. ラーシド家 3. サバーハ家 4. ハーシム家

問9 16世紀末から17世紀前半にかけて活躍したイタリアの物理学者・天文学者である。自作の望遠鏡を用いた天体観測によって木星の衛星などを発見し、コペルニクスが唱えた地動説を擁護した。しかし、この主張がカトリック教会の教義に反するとして宗教裁判にかけられ、自説の撤回を余儀なくされた。この人物は誰か。

(2021年 全国公立入試 類似)

1. ガリレオ・ガリレイ 2. ヨハネス・ケプラー 3. アイザック・ニュートン 4. ルネ・デカルト

問10 17世紀後半、清の康熙帝がロシア（ロマノフ朝）との間で国境を画定するために締結した条約で、その満洲語の条約文において、清が自国を指す言葉として「中国」に相当する表現を用いたことで知られるものは何か。

(2023年 全国公立入試 類似)

1. アイグン条約 2. キャプタ条約 3. ネルチンスク条約 4. イリ条約

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 天然痘	ヨーロッパ人の到来に伴い、それまで隔離されていた南北アメリカ大陸に新たな病原体が流入した。特にこの感染症は極めて強い感染力と致死率を持ち、免疫のない先住民の間で大流行して人口激減の直接的な原因となった。なお、アフリカからの奴隷貿易による人口流出はアメリカ大陸先住民の人口減少の直接的要因ではない。
問2	答え 4 顧憲成	顧憲成は明末の官僚・学者であり、下野した後に故郷の無錫で東林書院を再興した。ここを拠点に、宦官の専横や政府の政策を批判する知識人・官僚が集まり、東林派と呼ばれる政治グループが形成された。
問3	答え 1 アクバル	ムガル帝国の第3代皇帝アクバルは、領土拡大を進める一方で、多数派であるヒन्दゥー教徒の支持を得るために融和政策をとった。その一環として、非ムスリムに課されていた人頭税（ジズヤ）を廃止し、ヒन्दゥー教徒の有力者であるラージプートの娘を妃に迎えるなどして帝国の基盤を固めた。
問4	答え 1 ユグノー	ルイ14世は1685年にナントの王令を廃止し、国内のカトリック化を強制した。これにより、信仰の自由を失ったカルヴァン派信徒（ユグノー）の多くが商工業者であったため、彼らがイギリスやプロイセンなど国外へ亡命したことは、フランスの産業や経済に深刻な打撃を与えることとなった。
問5	答え 2 ナントの勅令	16世紀後半のフランスでは、ユグノー戦争と呼ばれる凄惨な宗教戦争が展開された。ブルボン朝の初代国王として即位したアンリ4世は、自らカトリックに改宗して国内の多数派の支持を得る一方、1598年にこの勅令を發布してユグノー（新教徒）に大幅な信教の自由を認めた。これにより、約30年に及んだユグノー戦争は終結し、フランスにおける絶対王政の基礎が築かれた。
問6	答え 4 コーヒーハウス	17世紀半ばから18世紀のイギリス（特にロンドン）で流行したコーヒーハウスは、1ペニーの入場料でコーヒーを飲みながら、備え付けられた新聞や雑誌を読み、政治や文学について自由に議論を交わす場であった。これは市民社会における世論形成や、保険取引所（ロイズ）などの経済活動の発展に大きく寄与した。
問7	答え 4 リヴァプール	リヴァプールは、18世紀に奴隷貿易の拠点として急速に繁栄したイギリス西部の港町である。カリブ海やアメリカ大陸から輸入される砂糖やタバコ、綿花の荷揚げ港となり、背後のマンチェスターなどの綿工業地帯と結びつくことで、産業革命期に世界的な商業都市へと成長した。
問8	答え 1 サウード家	イブン=アブドゥル=ワッハーブが提唱したワッハーブ派の改革運動は、アラビア半島中部の豪族であるサウード家と結びついた。サウード家はワッハーブ派の教えを政治的・軍事的な指導理念として取り入れ、アラビア半島の大部分を支配する第一次サウード王国を建国した。これが現在のサウジアラビアの起源となった。
問9	答え 1 ガリレオ・ガリレイ	望遠鏡を用いた天体観測によって地動説（太陽中心説）を実証的に擁護したイタリアの学者はガリレオ・ガリレイである。彼は宗教裁判で異端とされ、地動説の撤回を求められた。なお、万有引力の法則を発見したのはイギリスのニュートンである。
問10	答え 3 ネルチンスク条約	1689年、康熙帝の時代の清はロシアとの間で国境を画定する条約を結んだ。この条約の満洲語テキストにおいて、清朝は自国を指す言葉として「中国（トゥリン・グルン）」に相当する表現を使用しており、従来の「中華と夷狄」という二元的な対外認識から、対等な主権国家としての「中国」という自意識への変化を示す事例として注目される。